

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年3月18日 (2010.3.18)

【公開番号】特開2006-24197(P2006-24197A)
 【公開日】平成18年1月26日 (2006.1.26)
 【年通号数】公開・登録公報2006-004
 【出願番号】特願2005-163192(P2005-163192)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

G 0 6 F 21/20 (2006.01)

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 3 5 7 A

G 0 6 F 15/00 3 3 0 C

H 0 4 L 12/56 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月3日 (2010.2.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

クライアント端末と、前記クライアント端末にサービスを提供するサービス提供装置とを含むサービス提供システムであって、

前記サービス提供装置は、

アクセスしてきた前記クライアント端末のグローバルアドレスを取得済みであるか否かを判断する判断手段と、

前記判断手段が前記クライアント端末のグローバルアドレスを取得済みでないと判断した場合、前記クライアント端末に対して前記グローバルアドレスを通知するよう要求する通知要求手段と、

前記通知要求手段の要求に応じて前記クライアント端末が前記グローバルアドレスを通知してきたか、前記クライアント端末がリンクローカルアドレスを通知してきたかの何れかに応じて、前記クライアント端末に対して、異なるサービスを提供するサービス提供手段と

を有し、

前記クライアント端末は、

前記サービス提供装置から前記グローバルアドレスを通知するよう要求を受けた場合、前記クライアント端末が前記グローバルアドレスを保持しているか否かを確認する確認手段と、

前記確認手段が、前記グローバルアドレスを前記クライアント端末が保持していることを確認した場合、前記サービス提供装置へ前記グローバルアドレスを通知する通知手段と

を有することを特徴とするサービス提供システム。

【請求項 2】

前記サービス提供手段は、前記通知要求手段の要求に応じて前記クライアント端末がリンクローカルアドレスを通知してきた場合、前記グローバルアドレスを通知したクライア

ント端末に対して提供するサービスよりも制限したサービスを提供することを特徴とする請求項 1 に記載のサービス提供システム。

【請求項 3】

クライアント端末と、前記クライアント端末にサービスを提供するサービス提供装置とを含むサービス提供システムにおけるサービス提供方法であって、

前記サービス提供装置が、

アクセスしてきた前記クライアント端末のグローバルアドレスを取得済みであるか否かを判断する判断工程と、

前記判断工程において前記クライアント端末のグローバルアドレスを取得済みでないと判断された場合、前記クライアント端末に対して前記グローバルアドレスを通知するよう要求する通知要求工程と、

前記通知要求工程における要求に応じて前記クライアント端末が前記グローバルアドレスを通知してきたか、前記クライアント端末がリンクローカルアドレスを通知してきたかの何れかに応じて、前記クライアント端末に対して、異なるサービスを提供するサービス提供工程と、

前記クライアント端末が、

前記サービス提供装置から前記グローバルアドレスを通知するよう要求を受けた場合、前記クライアント端末が前記グローバルアドレスを保持しているか否かを確認する確認工程と、

前記確認工程において前記グローバルアドレスを前記クライアント端末が保持していることを確認した場合、前記サービス提供装置へ前記グローバルアドレスを通知する通知工程と、

を有することを特徴とするサービス提供方法。

【請求項 4】

前記サービス提供工程では、前記通知要求工程における要求に応じて前記クライアント端末がリンクローカルアドレスを通知してきた場合、前記グローバルアドレスを通知したクライアント端末に対して提供するサービスよりも制限したサービスを提供することを特徴とする請求項 3 に記載のサービス提供方法。

【請求項 5】

前記クライアント端末と前記サービス提供装置と、の間の通信プロトコルは、UPnP プロトコルであることを特徴とする請求項 3 又は請求項 4 に記載のサービス提供方法。

【請求項 6】

前記サービス提供装置における前記判断工程、前記通知要求工程、及び前記サービス提供工程の処理と、前記クライアント端末における前記確認工程及び前記通知工程の処理は、前記UPnPプロトコルの記述フェーズにおいて行われる処理であることを特徴とする請求項 5 に記載のサービス提供方法。

【請求項 7】

アクセスしてきたクライアント端末のグローバルアドレスを取得済みであるか否かを判断する判断手段と、

前記判断手段により前記クライアント端末のグローバルアドレスを取得済みでないと判断された場合、前記クライアント端末に対して前記グローバルアドレスを通知するよう要求する通知要求手段と、

前記通知要求手段の要求に応じて前記クライアント端末が前記グローバルアドレスを通知してきたか、前記クライアント端末がリンクローカルアドレスを通知してきたかの何れかに応じて、前記クライアント端末に対して、異なるサービスを提供するサービス提供手段と、

を有することを特徴とするサービス提供装置。

【請求項 8】

前記サービス提供手段は、前記通知要求手段の要求に応じて前記クライアント端末がリンクローカルアドレスを通知してきた場合、前記グローバルアドレスを通知したクライア

ント端末に対して提供するサービスよりも制限したサービスを提供することを特徴とする請求項 7 に記載のサービス提供装置。

【請求項 9】

前記サービス提供手段は、前記クライアント端末が前記グローバルアドレスを通知してきた場合、前記クライアント端末に対して前記サービス提供装置の全ての制御が可能なページに Web ブラウザからアクセスできるアドレス情報を提供し、

前記クライアント端末が前記リンクローカルアドレスを通知してきた場合、前記クライアント端末に対して前記サービス提供装置の一部の制御が可能なページに Web ブラウザからアクセスできるアドレス情報を提供することを特徴とする請求項 7 に記載のサービス提供装置。

【請求項 10】

前記クライアント端末と前記サービス提供装置と、の間の通信プロトコルは、UPnP プロトコルであることを特徴とする請求項 7 乃至 9 の何れか 1 項に記載のサービス提供装置。

【請求項 11】

前記判断手段、前記通知要求手段、及び前記サービス提供手段の処理は、前記 UPnP プロトコルの記述フェーズにおいて行われる処理であることを特徴とする請求項 10 に記載のサービス提供装置。

【請求項 12】

サービス提供装置が実行する情報処理方法であって、

アクセスしてきたクライアント端末のグローバルアドレスを取得済みであるか否かを判断する判断工程と、

前記判断工程において前記クライアント端末のグローバルアドレスを取得済みでないと判断された場合、前記クライアント端末に対して前記グローバルアドレスを通知するように要求する通知要求工程と、

前記通知要求工程における要求に応じて前記クライアント端末が前記グローバルアドレスを通知してきたか、前記クライアント端末がリンクローカルアドレスを通知してきたかの何れかに応じて、前記クライアント端末に対して、異なるサービスを提供するサービス提供工程と、

を有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 13】

前記通知要求工程における要求に応じて前記クライアント端末がリンクローカルアドレスを通知してきた場合、前記グローバルアドレスを通知したクライアント端末に対して提供するサービスよりも制限したサービスを提供することを特徴とする請求項 12 に記載の情報処理方法。

【請求項 14】

前記サービス提供工程では、前記クライアント端末が前記グローバルアドレスを通知してきた場合、前記クライアント端末に対して前記サービス提供装置の全ての制御が可能なページに Web ブラウザからアクセスできるアドレス情報を提供し、

前記クライアント端末が前記リンクローカルアドレスを通知してきた場合、前記クライアント端末に対して前記サービス提供装置の一部の制御が可能なページに Web ブラウザからアクセスできるアドレス情報を提供することを特徴とする請求項 12 に記載の情報処理方法。

【請求項 15】

前記クライアント端末と前記サービス提供装置と、の間の通信プロトコルは、UPnP プロトコルであることを特徴とする請求項 12 乃至 14 の何れか 1 項に記載の情報処理方法。

【請求項 16】

前記判断工程、前記通知要求工程、及び前記サービス提供工程における処理は前記 UPnP プロトコルの記述フェーズにおいて行われる処理であることを特徴とする請求項 15

に記載の情報処理方法。

【請求項 17】

請求項 12 乃至 16 の何れか 1 項に記載の情報処理方法の各工程をコンピュータに実行させることを特徴とする制御プログラム。